

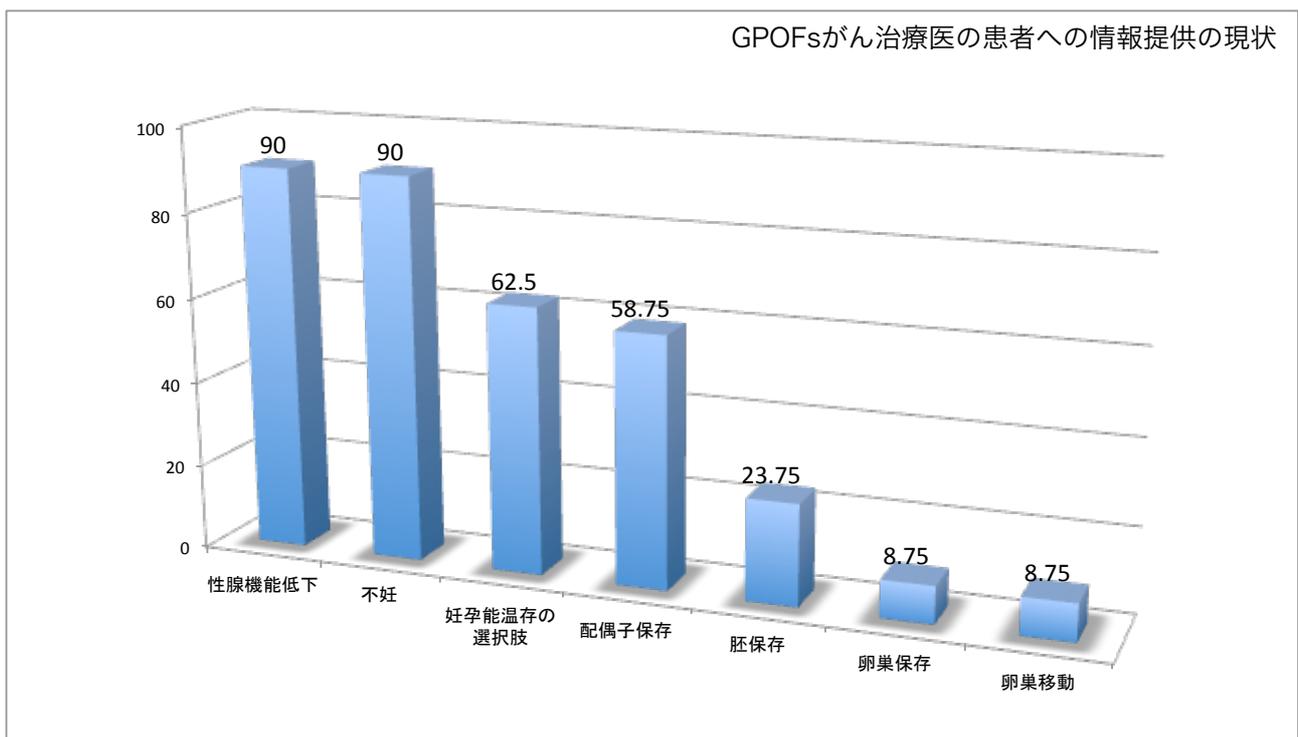
2013年2月15日
 岐阜県がん・生殖医療ネットワーク(GPOFs)
 が立ち上がりました

岐阜県がん生殖医療ネットワーク

若年がん患者の増加とがん診療の進歩によって、若年がん患者の治療後の長期にわたるQOL改善に重点が置かれるようになってきました。これらの患者の中には、手術、放射線照射、化学療法による妊孕性の廃絶のため挙児を諦めざるを得ないものも少なくなく、QOL低下の大きな理由になっています。

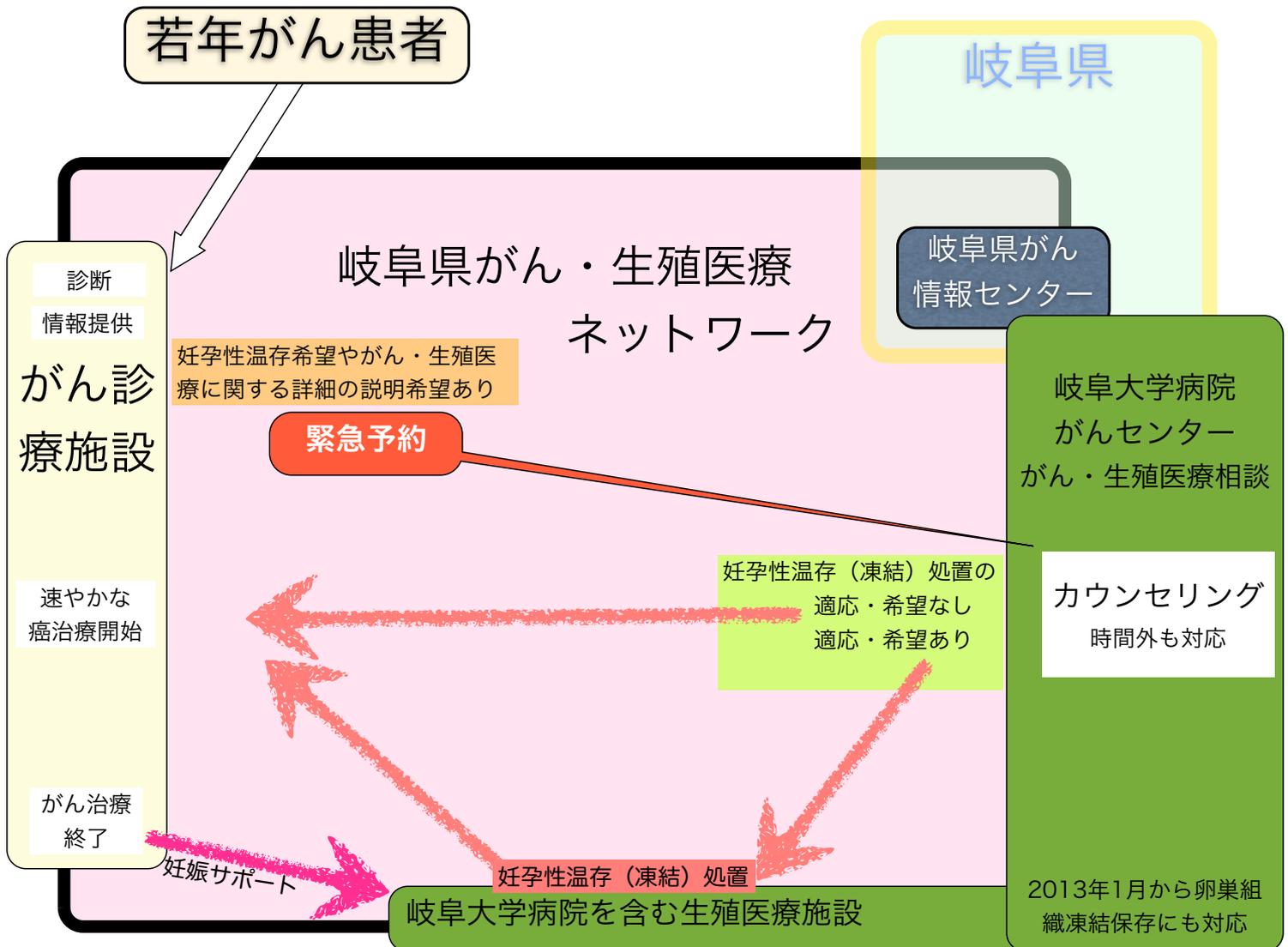
近年、がん治療の分野でも治療にあたり妊孕性への影響やその対策についての情報提供の必要性が認識されるようになってきています。米国がん治療学会ではガイドラインでもこういった情報提供と生殖医療専門医との連携が推奨されるようになってきております。しかしながら、がん治療の現場では必ずしも生殖医療に精通したスタッフへのアクセスが確保されている訳ではなく、がんに対する診断や治療スケジュールの問題も加わり十分な対応が出来ていない現状があります。

岐阜県では毎年、婦人科がんを除いた40歳未満で悪性腫瘍と診断される患者が約100名程度いると推定されています。精子保存を必要とする男性患者以外で、妊孕性温存処置としての卵子や卵



巣組織凍結保存の対象となりそうな患者も少なくとも10名程度はいると考えられます（GPOFsアンケートより）。一方、現場のがん治療医はがん治療による性腺機能低下や不妊に関して患者に説明しているものの、妊孕性温存の選択肢や方法に関しては十分な説明がなされていない現状も明らかになりました（グラフ）。これは、がん治療医の生殖医療の現状に対する知識不足のみならず、生殖医療医師との連携が取れないため、患者への説明ができないという事情にもよると考えられます。

そこで、岐阜県がん生殖医療ネットワークおよび岐阜大学病院・がん生殖医療相談（外来）を立ち上げ、岐阜県内の若年がん患者、がん治療医、生殖医療専門医を結びつけ、患者に対して適切な妊孕性に関する情報提供、温存処置の提供とQOL改善のサポート、がん治療医の負担軽減することに貢献できれば幸いです。



GPOFsイメージ図

【GPOFs設立の目的】

若年がん患者に対する治療前の妊孕性低下に関し、

- ・十分なカウンセリング
 - ・予防処置の適応の検討やその選択肢
- を円滑かつ迅速に提供すること

がん治療医と生殖医療医の情報の交換や共有とがん治療医の負担軽減

【岐阜大学病院がん・生殖医療相談】

GPOFs参加施設で、患者が妊孕性とがん治療に関するより詳しい情報提供を希望した場合に、岐阜大学病院、がん・生殖医療相談（外来）に出来るだけ早く受診していただき、がん生殖医療カウンセリングをお受けいただき、がん治療に対する不安を少しでも取り除くことができるようなサポートを提供します。

十分なカウンセリングと適応を判断した上で、近隣の愛知県も含めた不妊治療施設とも連携した配偶子や胚凍結、岐阜大学病院での卵巣組織の凍結保存を提供し、速やかにがん治療開始できるようサポートします。

さらに、これらのクリニックとも協力してがん治療終了後の不妊治療のサポートまで相談に乗ります。

岐阜県がん・生殖医療ネットワーク(GPOFs)参加施設

(がん治療施設のみ)

- ◎=県がん診療連携拠点病院
- =地域がん診療連携拠点病院

◎岐阜大学病院

乳腺、血液、小児、整形、泌尿器、産婦、がんセンター（がん生殖医療相談）
消化器内科、消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科

○岐阜県総合医療センター

乳腺、血液、泌尿器、産婦

○岐阜市民病院

乳腺、血液、小児、産婦

村上記念病院

乳腺、婦人

岐阜赤十字病院

血液、泌尿器

○木沢記念病院

乳腺、泌尿器科、産婦

関中央病院

乳腺

中濃厚生病院

産婦

郡上市民病院

産婦

○高山赤十字病院

乳腺、産婦人科

松波総合病院

乳腺、産婦

羽島市民病院

外科、泌尿器科

○大垣市民病院

乳腺、血液、泌尿器、産婦

西美濃厚生病院

外科、泌尿器科

東海中央病院

乳腺、産婦

○県立多治見病院：乳腺、血液、泌尿器、産婦

多治見市民病院：外科



市立恵那病院
外科

多治見市

美濃加茂市

各務ヶ原市

笠松町

羽島市

養老町

大垣市

岐阜市

関市

郡上市

岐阜県

【GPOFsの構成】

GPOFsは、岐阜県全域のがん診療連携拠点病院およびその他のがん治療施設の 乳腺外科、血液内科、泌尿器科、小児科、整形外科、産婦人科などのがん治療医が参加しています。また、県下の生殖医療専門医と胚培養士が所属する全施設の賛同も得られています。さらに行政、医師会、倫理学、基礎研究者など、この分野に対して現場以外からの立場でのサポートが可能な専門家も含め、24施設52部門
合計116名が参加しております。 (2013.2.15現在)

【特徴】

- ・施設の垣根を越えた若年がん患者とがん診療医のサポート
- ・患者が妊孕性への迅速かつ適切なカウンセリング、妊孕性温存処置
- ・県内の医療機関、行政、医師会、大学が一体となった取り組み

【事務局】

岐阜大学医学部附属病院産科婦人科内
〒501-1194 岐阜市柳戸1-1
☎058-230-6349 FAX058-230-6348

【関連サイト】

ぎふがんねっと（将来の出産に備えて） <http://gifugan.net/wp/norikoeru/syussan/>
岐阜大学病院がん・生殖医療相談（外来） <http://hosp.gifu-u.ac.jp/center/gan/gan-seisyoku.html>